

いてふ

一般財団法人 防府消化器病センター

防府胃腸病院 広報誌

防府胃腸病院

2019年2月 第22号



「フレイル」を考える

一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院長 三浦 修

最近**フレイル**という言葉をよく耳にします。本来のフレイル (frail) の意味は、「もろい」、「か弱い」、「はかない」ですが、「フレイル高齢者」などと使われるときの定義は、「**加齢とともに心身の活力（たとえば筋力や認知機能など）が低下し、生活機能障害、要介護状態、死亡などの危険性が高くなった状態**」のことで、要介護や寝たきりになる前の予備軍とも言えます。2013年の調査では、65歳以上の高齢者では、フレイル状態の割合は11.5%でした。その中で65~69歳では5.6%、80歳以上では34.9%と加齢により、確実にフレイルの割合は増加しています。

一般的には加齢に伴う変化として、食欲低下、活動量の低下（社会交流の減少）、筋力低下、認知機能低下、さらに高齢者特有のいろいろな病気を抱えるなどがあり、その結果として老年症候群という危険な加齢兆候が出てきます。低栄養や転倒の増加、口腔機能低下などの「身体面」、意欲・判断力の低下や認知機能の低下、うつなどの「精神・心理面」、閉じこもりや孤食などの「社会面」など、いろいろな多面的な状況が影響し合い、徐々に要介護状態に陥るとされています。

フレイルは、適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能であり、厚生労働省も昨年度から本格的にフレイル対策事業を開始していて、「低栄養や筋量低下などによる心身機能の低下の予防や生活習慣病の重症化予防のため、高齢者の特性を踏まえた保健指導を実施する」としています。

厚生労働省の作成したチェックリストでは、「暮らしぶり」、「運動器」、「栄養・口腔機能」、「こころ」など25の項目に関して回答することで、介護予防事業利用の評価ができるようになっています。重要なことは、高齢者が「できなくなったこと」を把握するだけでなく、「**できること**」に着目し、それを維持し、さらに前向きに増進させ、本人が自信に繋げ、社会や地域の中でやりがいを発揮、効果を実感していけるような保健、介護、医療の連携とサポート体制の整備が強く望まれます。



地域医療連携・相談室からのお知らせ

当院では、地域の医療機関や介護施設等と密接な連携を図り、紹介患者様の迅速な受け入れができるよう、地域医療連携・相談室を設置しています。地域の「医療連携の相談窓口」として、医療機関や介護施設をはじめ、行政や福祉に関わる多くの施設との橋渡しをする役割を担っています。



●地域医療連携・相談室の概要

場 所：1階 外来ホール左側（売店横のエレベーター後方）
業務時間：平日（月曜日から金曜日） 8時30分から17時15分
土・日・祝日・年末年始は休み
電 話：0835-22-3339（代表）
F A X：0835-25-8754（直通）
担 当 者：中村・金子

●主な業務内容

- ・地域の医療機関、施設からの診療、検査紹介に関すること
- ・入院患者様の他院への緊急転院、緊急受診に関すること
- ・紹介患者様の治療・検査等の予約に関すること
（CART：腹水濾過濃縮再注射療法、睡眠時無呼吸症候群検査 等）
- ・レスパイト入院に関すること
- ・相談業務に関すること

2019年2月から責任者が変更となりました。引き続き地域連携の充実を図り、患者の皆様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるようサポートしてまいります。

安全管理部より

去る1月24日、山口県立総合医療センターによる医療安全対策地域連携加算2に係る医療安全相互チェック訪問評価を受けました。当院の医療安全対策について、第三者の視点から評価される機会を得ることができ、とても勉強になりました。今後、今まで以上に患者の皆様へ安全な医療サービスを提供できるよう努めてまいります。

救急蘇生研修を開催

当院では毎年看護師を含めたその他のコメディカルスタッフなど全職員を対象として救急蘇生研修を行っています。

研修では講義とあわせて実際に人形を使用し、胸骨圧迫（心臓マッサージ）のトレーニングも行っています。

胸骨圧迫の際の圧迫の深さやリズムは定期的なトレーニングをしないと技術は低下していきます。1年に1度研修を受講してもらうことでスタッフ一人一人の蘇生技術の維持・向上を図っています。



第 124 回 健康公開講座のご報告



山口大学名誉教授
加藤 紘 先生

去る 2 月 8 日（金）、アスピラート音楽ホールにて第 124 回健康公開講座を開催いたしました。「“話せばわかる”は幻想です～新橋芸者さんのコミュニケーション術～」と題し、**山口大学名誉教授の加藤紘先生**にご講演いただきました。いつの世も「自らの思い」と「周囲環境や世の流れ」との「微妙な」あるいは「決定的」な相違の中で修行を積むのが常でございますが、とにかく生きにくい世の中をいかに幸せな笑みを中心として過ごしていくか、そういった術を含むとても学びの多いご講演でした。あるべき姿を決してあきらめず、かつ、**ネガティブケイパビリティ**を鍛え、課題は、時に棚に上げたり、時に手に取ったりしながら、日々精進してまいりたいと思います。「**そよ風**」による Jazz 演奏は音楽ホールに暖かく響いて、聴衆の皆様にも演奏者の思いが届いたかと思います。おいでいただいた皆様、ありがとうございました。

第 125 回 健康公開講座のご案内

4 月 17 日(水)、「**糖尿病の合併症予防～わかるとできる、あんなことこんなこと～**」と題して、当院、**糖尿病看護認定看護師の中山法子**が講演します。世界での糖尿病患者数は 4 億を超えられています。皆様の健やかな日々に関わる話がきっとあると思います。生活習慣を見直す機会にさせていただけると幸いです。皆様ぜひご来場くださいませ。

第 125 回 健康公開講座

糖尿病の合併症予防 ～わかるとできる、あんなことこんなこと～

講師 防府消化器病センター 糖尿病看護認定看護師 **中山 法子**

2019 年 4 月 17 日（水） 19:00 開演 アスピラート 3 階

スプリングコンサート

4 月 5 日（金） 13:00～13:30

新年度幕開け早々になりますが、4 月 5 日（金）13:00 より当院リハビリテーションホールにて**スプリングコンサート**を開催いたします。この度は、昨年、秋のコンサートで演奏いただきました **Eclat（エクラ）** のお二人と**琴**のコラボレーションでお届けする予定です。職員参入も計画中です。ご来場お待ちしております。

ホームページ更新のお知らせ

当センターの**ホームページ**を**リニューアル**しました。内視鏡治療、外科手術等、院内の情報満載です。「広報誌いてふ」と共に、ご利用ください。尚、こちらの QR コードからもご覧いただけます。

ホームページアドレス：<https://www.hofu-icho.or.jp>



外 来 診 療 予 定 表

(2019年1月7日～)

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	松岡	三浦	三浦	松岡	三浦	交代制
	2 診	藤原 9:00～	柿本 (1・3・5 週)		藤原 9:00～		交代制
	3 診	柿本	竹尾	竹尾	三浦	松岡	交代制
	5 診	鴨打	松岡	柿本	竹尾	鴨打	
	6 診	南園	戸田 9:00～	南園	鴨打	柿本	
	肛門外科	宇都宮		宇都宮		宇都宮	
午後	1 診	戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診
	肛門外科	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診

診療日時		受付時間	診療時間
平日	午前	8:00～11:00	8:30～
	午後(月・水・金)	13:30～16:30	14:00～
土曜日	午前	8:00～11:00	8:30～

※ 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。
土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。
土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
担当医が不在の場合は代わりの医師にて診療を行います。



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL: 0835-22-3339 (代表)

H P: <https://www.hofu-icho.or.jp>



■交通機関のご案内

【電車】JR 防府駅よりバス 2 分 (防府市役所前下車)

または JR 防府駅より徒歩 10 分

【バス】防府市役所前下車

【お車】山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10 分

★地域医療連携・相談室から★

当室では地域連携や在宅医療の充実を図り、患者様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるようサポートいたします。お気軽にご相談ください。

TEL:(0835)22-3339 (代表) FAX:(0835) 25-8754 (直通) 担当: 中村・金子

編集後記

節分・立春とは過ぎ、向春の趣が増してまいりました。店頭にならぶ露の臺などでも季節の移り変わりが感じ取れます。年度末までほんの少しとなりました。平成最後が乱立する中、気が急かされますが、じっくり目の前の安全に注力して参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 栗林 左知